

2020.6.11 掲載

【重要】矢上キャンパスにおける 学内施設の段階的な使用開始と入構制限について

理工学部長 岡田 英史

慶應義塾新型コロナウイルス感染症対策本部は、緊急事態宣言が5月25日付で解除されたことを受けて、慶應義塾における教育研究活動を維持継続するという立場から、インターネットを活用したオンライン授業・研究活動を原則としつつも、十分なウイルス感染予防策を講じたうえで、教育研究活動の遂行上、必要不可欠な塾内施設についてその段階的な利用を実施することを決定しました。

理工学部・矢上キャンパスでは、入構者数を制限することで感染リスクを低減しつつ、研究室における一部の研究活動から段階的に開始することといたしました。

下記の期間、事前に許可された日時に限り入構を認めることといたします。事前許可のない塾生の入構は認めません。

2020年6月15日（月）から当面の間

※ 入構にあたっては、入構者の自律的予防行動について再確認の上、遵守してください。

a) [研究室へ行く場合] 研究室に所属する理工学部4年生、大学院生は事前に矢上キャンパス入構予備申請書・確認書を提出し、所属ラボの管理責任者（指導教員）が認めた日時に限り入構することができます。管理責任者の教員がワークフロー申請フォームで、土日祝日を除いた入構前日16時までに申請、許可を得る必要があります。入ることができる部屋、時間については、管理責任者の指示に従ってください。管理責任者が認めた場合は、研究教育支援施設、事務室を利用することができます（事前予約が必要な場合があります）。

b) [研究教育支援施設・事務室を利用する場合] 研究室に所属していない理工学部3年生の学生は、事前に矢上キャンパス入構予備申請書・確認書を提出し、訪問先の部署に利用予約をして認められた日時に限り入構することができます（前日の12:00までに申請をするようにしてください）。人数制限などにより利用が認められないこともありますので、必ず利用予約が認められたことを確認してください。

キャンパス入構の際に、警備室において、予約の有無を確認することがありますので、利用予約が認められたことがわかるスマホ画面の表示または印刷したものを提示できるようにしておいてください。なお、入構した際に予約をしていない他の施設を利用することはできません。

今後も本措置の期間を変更する場合は、こちらのページでお知らせしますので、常に確認するようにしてください。

理工学部・理工学研究科では学事日程の授業開始（4月30日）より春学期中は、教室における対面授業は実施せず、すべてオンライン授業とすることを決定しています。夏季集中講義も同様です。

学生課では、webからの問い合わせも受け付けています。矢上キャンパスに入構しなくても質問することができ、担当者からの回答はメールで送付されます。下記 URL のお問い合わせフォームをご利用ください。

<https://www.students.keio.ac.jp/com/other/contact/faq.html>

緊急事態宣言は解除されましたが、新型コロナウイルス感染症は完全には終息しておらず、第2波、第3波の感染拡大の可能性も示唆されています。また、無症状の感染者による感染拡大や若年の感染者が重篤化する例も報告されています。塾生諸君は、3密を避ける等の自律的な予防行動により、引き続き自分自身の健康維持と感染拡大防止に努めてください。

以 上